

## 2025 年度 次世代研究者助成事業募集要項

公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団は「人間と遊び」という視点に立った科学技術の研究・助成を主な目的として、1992 年に設立され 2011 年に公益財団の認定を受けた法人です。この視点に立脚した研究開発等を対象に、設立以来途切れることなく、毎年広く研究助成を展開してまいりました。

2024 年度からは新たに高校生を対象とした「次世代研究者助成事業」を開始いたしました。次世代研究者助成事業は、「人間と遊び」をテーマとした高校生の研究活動をサポートするための助成制度です。

採択された方には研究費 10 万円が付与され、1 組につき研究コーチ 1 人がペアとなり、研究コーチによる定期的なメンタリングを受けながら研究に取り組むことができます。

多数の研究者のご応募をお待ちしております。

### 記

#### 助成対象研究分野

「人間とあそび」をテーマとした人間性・社会性を高める自由な発想を実現・実装する研究

#### 募集対象

- 日本国内の高校生・高等専門学校生（3 年生まで）・中等教育学校生（4～6 年生）
- ・個人もしくは 3 名までのグループ
- ・応募された生徒・学生が通う学校の教員 1 名を研究助成活動実施責任者としてご登録いただく必要があります。

#### 助成研究費

研究費 100,000 円

- ・研究費の使用用途は研究に要する経費のみとします。
- 経費：材料費、部品等購入費、設備費、交通費等。飲食代は経費対象になりません。

#### 研究期間

2025 年 4 月～2025 年 9 月（採択～研究成果報告書を提出するまで）

#### 採択予定件数

5 組程度

## 応募方法等

- (1) 応募期間：2024年12月2日～2025年1月31日
- (2) 応募方法：当財団 Web サイト 専用応募フォーム
- (3) 提出書類等：以下3点

|   | 提出物                        | 説明   | 入手方法等  |
|---|----------------------------|--|--|
| ① | 研究計画書<br>(指定様式)            | 申請者(生徒)情報や、申請する研究テーマについての必要情報を記入してください。  | 指定様式です。当財団 Web サイト専用ページからダウンロードしてください。   |
| ② | 生徒の研究活動支援に関する同意書<br>(指定様式) | 学校の教員1名に「生徒の研究活動支援に関する同意書」を渡し、承諾の上、必要事項を記入してもらってください。  | 指定様式です。当財団 Web サイト専用ページからダウンロードしてください。   |
| ③ | 研究への意欲を伝えるプレゼン動画(1分以内)     | 研究にかける想いや、なぜその研究を行いたいのか、将来成し遂げたい事などを申請者(生徒)自身で熱く語ってください。<br>動画は YouTube に限定公開動画設定でアップし、URL を当財団 Web サイト応募フォーム該当欄に記入してください。 | ※限定公開動画設定の方法については下記 QR にアクセスしご確認ください。<br> |

## 審査結果発表

2025年3月31日 当財団 Web サイト上にて発表

## 応募に際しての注意事項

- ・「次世代研究者助成事業規約」を遵守してください。
- ・他の応募・コンテストと同内容で重複しての応募はできません。
- ・採択された場合、採択者(生徒)の情報や研究の内容及び成果(氏名、年齢、所属学校、顔写真等の個人情報を含みます)が、当財団のウェブサイト、刊行物、SNS その他媒体を問わずメディアへ掲載されることに同意する必要があります。  
(その他媒体に掲載する際は事前に連絡します。)
- ・原則として、以下の2つのイベントに参加してください。
  - ① オンラインキックオフイベント(2025年4月11日 16:30～)
  - ② 研究成果発表会(11月の平日、対面実施)

## その他

### ・研究は動物を使用しないテーマであること

ここではマウスやラットを用いた動物試験を想定しております。動物愛護法の注意範囲に当てはまらない生物（貝類・魚類・両生類など）を用いた実験は応募可能です。

### ・生成 AI を利用することについて

生成 AI を研究、または研究報告書作成に使用することは可とします。ただし、どの程度どこの箇所において使用したのか必ず申告することを条件とします。

生成 AI を使用しているように見受けられるにもかかわらず、使用した旨の申告がない場合は審査の中で可否を判断します。また、たとえ採択者（生徒）本人が意図せずとも、著作権法に触れた場合、当財団は責任を負いません。著作権については採択者（生徒）及び研究助成活動実施責任者（教員）が管理することを前提とします。

## 採択後のスケジュール

| 日時                | 内容                       | 説明   |
|-------------------|--------------------------|--|
| 4月11日<br>16:30～予定 | オンラインキックオフイベント           | 今後の流れの説明や研究コーチ・他研究者との交流を行います                   |
| 4月25日             | 研究助成金振込                  | 受取口座は基本的に学校の口座とします。学校側で対応が難しい場合はご相談ください。       |
| 4月～9月<br>毎月1回     | 研究サポート／メンタリング<br>(オンライン) | 研究コーチによる研究メンタリング（※表下参照）では、月1回程度のオンライン面談を実施します。 |
| 10月15日            | 研究成果報告書提出                | A4・2枚、報告書の様式は決まっています。                          |
| 11月平日<br>(午後)     | 研究成果発表会                  | 東京都内の会場で、一般の研究者同様、プレゼンテーション形式で研究成果を発表します。      |

### ※研究メンタリングについて

研究コーチによる研究メンタリングでは、月1回程度のオンライン面談を実施し、それらを通して以下を実施します。

- ・研究計画書に基づく研究計画のブラッシュアップ
- ・研究結果から考察のディスカッション
- ・研究報告書作成・研究成果発表会の準備
- ・研究発表へのフィードバック
- ・研究活動の振り返り、今後の研究計画策定

## FAQ

|    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| Q: | 研究計画書に指定の様式はありますか。                    |
| A: | 指定様式があります。当財団の Web サイトからダウンロードしてください。 |

|    |  |
|----|--|
| Q: | 応募資格について「個人もしくは3名までのチーム」とありますが、3人の上限を設けているのはなぜでしょうか。                                 |
| A: | コーチによるメンタリングの際、人数が多いと配慮が行き届かなくなる可能性がありますので上限を設けました。また、研究成果発表会に大人数での出席が難しいことも理由の一つです。 |

|    |  |
|----|--|
| Q: | 10月15日に提出する報告書に指定の様式はありますか。また、分量はどの程度でしょうか。              |
| A: | 指定様式があります。分量はA4・2枚です。<br>頂いた報告書は当財団年報「財団レポート」に掲載される予定です。 |

|    |  |
|----|--|
| Q: | 研究が完了しなかった場合はどうなるのでしょうか。   |
| A: | 研究が完了していなくても活動の経過、そこまでの経緯・成果を報告書にまとめ提出し、研究成果発表会で発表していただきます。研究費の返還は必要ありません。 |

|    |   |
|----|---|
| Q: | 研究期間終了後、助成研究費の使用用途の報告は必要でしょうか。                    |
| A: | 必要ありません。研究助成活動実施責任者としてご登録いただいている先生の指導のもと使用してください。 |

## お問い合わせ

公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団 事務局

- ・ 電話番号 03-6226-6161
- ・ メールアドレス [info@nakayama-zaidan.or.jp](mailto:info@nakayama-zaidan.or.jp)
- ・ Web サイト <https://www.nakayama-zaidan.or.jp/>
- ・ Web サイト QR コード

